

1 小中一貫教育の背景

- 児童の身体的な発達の高加速化(小5から)
- 中学校に進級するときの不安(人間関係と学習)
- 思春期に落ち込む自尊感情
- 中学1年生に見られる生徒指導上の諸問題の増加(不登校、いじめ)
- 学力の低下、学ぶ意欲の低下
- 児童生徒数の減少にともなう学校の統廃合に絡んで連携・一貫教育を模索
- 新しい時代の義務教育を創造する(H17中教審答申)

2 小中一貫教育とは・・・①

○小・中学校における義務教育9年間で、子どもたちの成長や発達の連続性を重視し、学習や生活面で一貫性を持たせた教育。

- 9年間で育てる視点の必要性＝連続性の視点
- 小中学校の授業に連続性を持たせたり、心身の発達を理解し小学校から中学校への円滑な移行が中1ギャップの解消につながる＝段差を低く、不安を解消
- 9年間で子どもの育ちや学びを保障すること

2 小中一貫教育とは・・・②

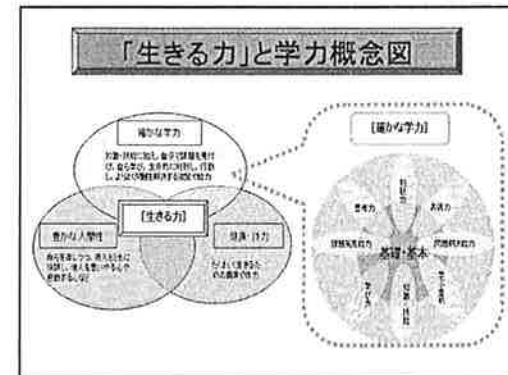
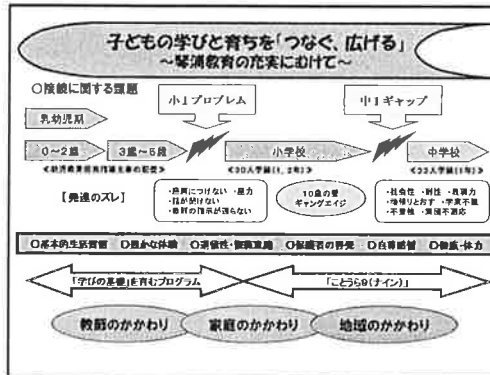
○現在、「構造改革特区の認定(70)」「文部科学省の研究開発学校の指定(24)」を受け、「小中一貫教育校」を設置している自治体や地域がある。新しいタイプの学校の創設。自由なカリキュラム編成が可能。6、3制の弾力化。

○校舎一体の「併設型」、同じ敷地内で校舎は別の「併置型」、校舎は離れているがカリキュラムを一体化した「連携型」などの形態がある。

2 小中一貫教育とは・・・③

○カリキュラム編成の区分—6、3制の見直し、中期の指導を重視。

	前期			中期			後期		
	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
就学前	あ								
	い								
	う								
	え								
	お								
こ									
お									
59									
発達	児童期			思春期の始まり			個に目覚める時期		
学力	具体的(具休物)			移行			抽象的(論理的)		



ことら9推進プラン <完成版>

町の共通重点目標 (中学校卒業時点で求めたい姿)		発達段階に応じた共通重点取組			
		就学前・1年・2年	3・4・5年	6・中1	中2・3
学びづくり	主体的に学習に取り組む姿	★家庭学習の習慣化 ★学習の準備(忘れ物しない) ★学習規律の積み上げ	※グループで学習する楽しさを	※自主学習への移行	課題をもって、主体的に学ぶ姿
	読書活動・情報活用能力を身につけた姿 ●キャリア教育の推進	★本との出会い(読み聞かせ等)	★多様な読書活動へ ★人の役に立つ喜び体験	★本をもう一人の友だちとして(調べ活動を含めて) ★将来の職業について考える仕事体験	※新聞等を読む ★職場体験・ボランティア活動体験
なかまづくり	自分の思いが言え、友達の思いが聞ける姿	★あいさつ・返事・言葉づかい ★しっかり聞くはつきり話す ★自分の思いを先生や家族に話す	★友だちに自分のことを話す ※自分と違う考えがあることに気づく ★学級集団・異学年集団での遊びや話し合い活動体験 ★正義のおおる学級集団づくり体験 ★友達関係のトラブルを解決する体験	※敬語を場面に応じて使う ★思いが言え、友だちの思いを聞く ※長所・短所を知り自分らしさが発揮できる ★リーダーシップの体験 ★生活を振り返り、自分の生き方を考える体験及びくらしの中にある人権問題への取り組み体験	★伝え合うことを大切にして自分の考えをさらに深める ★学級・学校生活をよくしていこうとする自治の体験(生徒会活動)
	お互いを認め合い、関わり、支え合って行動する姿	★くらしのルールや善悪がわかる ★友だちと遊ぶ ★トラブルを解決する体験 ★規範意識づくり			★ルールを守り、学校や地域の役に立つ体験、
からだづくり	健康生活への実践的態度を身につけた姿	★基本的生活習慣の定着	★進んで体育学習に取り組む ★スポーツとの出逢い	★特に、朝食・早寝早起き ★運動へのチャレンジャー	★基本的生活習慣の自己管理の姿 ★自分で選んだことに自覚と責任をもって最後までやりぬく姿
	性に関わる知識及びメディアとのつきあい方を身につけた姿 ●命を大切にする学習の推進	★ノーテレビの体験 ★性に関わる学習	計画的なテレビ視聴	メディアリテラシー	
その他	●発達課題及び小1プロブレム・中1ギャップをふまえての取り組み ●校種間連携事業の取り組み ●町教研等の取り組み	★「信頼・自律・自主性」の育ちの見立て ★保育園・幼稚園との連絡会議 校種間連携事業の開発(各校で) 保育園と 中学校と	★育ちなおしと「勤勉」性の育成 大人を信頼した体験を(小学校卒業までに)	★「自我同一性」の育成 ★小・中連絡会の充実 発達課題の育ちの見立てと申し送り ★中学進学に向けてのアプローチ 1日体験入学(部活動体験50分学習体験)	
	保護者との関わり		※20年度の取り組みのなかでさぐる		

自分づくり  
自分の将来について、自分なりの考えを持ち、自分で行動・実践する姿

各校の重点取り組み

年齢		0歳児	1歳児	2歳児
項目	特徴	大人に依存した生活の中で、身近な大人とのかかわりを通して人への信頼と自立につながる芽が育つ時期	歩き始め、手を使い、言葉を話すようになり、運動機能の発達がめざましくなる時期	食事・排泄・睡眠・片付けなどの基本的な生活習慣につながる簡単な身の回りのことを自分でしようとする時期
学びの基礎	準備・片付け	①準備 ②衣服の着脱 ③整理整頓 ③大人と一緒に遊びながら片付けようとする ③大人が言葉かけをしながらかの準備などをしてみせる	①自分の持ち物(カバン)を持って登園する ②衣服の前後を意図して着脱しようとする(簡単な衣服の着脱) ③大人に促されて遊んだ物を元の場所に片付けようとする ③自分のマークがわかり、靴やカバンの始末しようとする ③食器を分類して片付けようとする	②衣服の着脱の仕方がわかり、衣服をたたんだり、ボタン、ファスナーを自分でしようとする ③道具や使った物を促されて元の場所に片付けようとする
	(人と遊ぶか・道具)	①規範意識 ②かかわり ③問題解決 ④遊ぶ ⑤鉛筆 ⑥道具	①生活や遊びのなかで簡単な約束事を守ろうとする ②散歩を通して自然に親しむ ④大人や友だちと一緒に全身を使った運動遊びをする(よじ登る、這う、跳ぶ、ぶら下がる、ボール遊び) ⑤手、腕、指先を使って、つまむ、通す、めくる、殴り描きをして遊ぶ ⑥いろいろな道具、玩具を使って遊ぶ	①大人や友だちと一緒に簡単なルールのある遊びを楽しむ ②砂、土、水、草花や動物、虫に触れ、親しみをもつ ②「貸して、順番」などの言葉を使いながら気の合う友だちとごっこ遊びを楽しむ ④走る、跳ぶ、ぶら下がるなどいろいろな動きを楽しみながら全身を使って遊ぶ ⑤ちぎる、丸める、折る、通すなど指先を使った遊びを楽しむ ⑥ハサミやのりに興味をもつ
	聞く・話す	①聞く ②発表する ③伝える ④言葉遣い	①興味のあることや好きなことに集中して聞こうとする ②相手に対する要求を言葉で言えるようになる ③物と言葉を結びつける ③挨拶や生活に必要な言葉を真似て言う	①友だちや大人の話を「少しの間」静かに聞くことができる ②話の内容を理解し、自分なりに答えようとする ③短い言葉でやり取りする
	挨拶・返事	①挨拶 ②返事	①おはよう、さようなら、ありがとう、いただきます、ごちそうさま等、大人と一緒に挨拶しようとする ②名前を呼ばれたら手を挙げたり、「はい」と返事をしたりする	①おはよう、さようなら、ありがとう、いただきます、ごちそうさま等、大人と一緒に「進んで」挨拶しようとする
	読書	①読書 ②調べる ③選択	①好きな絵本を広げて見ようとする ①身近な大人に抱っこされて、絵本を読んでもらうの喜び ・絵本やお話を喜んで聞く ・絵本を読んでもらうとき、静かに見る	・好きなお話や体験したことについて、言葉のやりとりやごっこ遊びをする ・繰り返しの簡単なストーリーの絵本の読み聞かせを喜ぶ
	仕事	①家 ②園・学校	①大人のことを真似たり、手伝ったりすることを喜ぶ ②身の回りの物で、決まった場所に置いてある物を持ってきたり、片付けたりできる	①大人を真似て手伝ったり、一緒にすることを喜ぶ ②「物を持っていく、もらってくる」などの簡単なおつかいができる
	食事	①体づくり ②バランス ③スプーン・箸 ④マナー ⑤時間	①薄味や様々な食品の味に慣れる ②朝ごはんを食べる ③手掴みやこぼしながらでもスプーンを使って食べようとする ④食器を持って食べようとする	①苦手な食べ物でも促されて食べようとする ②朝食を摂る ③フォークをしっかりと持とうとする ④食器を持って食べようとする ③フォークが上手に持てるようになり、箸に移行する
	睡眠	①生活リズム ②自分で	①一人一人のリズムで眠りやすい雰囲気の中で睡眠を十分に摂らせる ②大人に側についてもらったり、見守られながら安心して眠る	(園) ①自分から布団に入り、静かに午睡しようとする

年齢		3歳児	4歳児	5歳児	小学校低学年	
項目	特徴	キーワード 気の合う友だちの中で、自分の思いを出しながら楽しく過ごす時期				年齢に応じて、学校でのきまりや学習、行動の意味が理解できるとともに、集団性を身につける時期
学びの基礎	準備・片付け	①準備 ②衣服の着脱 ③整理整頓	①家の人と一緒に園に必要な持ち物が準備できる ②自分で衣服の着脱をして、たたんだり、汚れたら着替えたりする ③自分の持ち物や使った用具を決められた場所に片付けることができる	③自分の用具や持ち物は自分で整理しようとする ④遊び道具を決められた場所に片付ける	①園に必要な持ち物を自分でカバンの中に入れて持ってくる ⑤自分の用具や持ち物を整理整頓して大切に作る ⑥遊びに必要な素材を準備したり、元の場所に片付けたりする	①明日の準備を自分でする(学習用具、文書、ハンカチ、ティッシュ等) ②完全に一人で衣服の着脱ができ、ためる ③身の回りの物を次に使い易いように整理整頓する
	(人と遊ぶ・か道具)	①規範意識 ②かかわり ③問題解決 ④遊ぶ ⑤鉛筆 ⑥道具	①簡単なルールや約束を覚えて遊ぶ ②身近な動植物や自然現象を見たり触れたりして親しみをもつ ③けんかなどの時、自分の主張だけでなく相手の思いも聞く事ができる ④押す、引く、よじ登る、飛び降りるなど全身を使って力いっぱい遊ぶ ④気の合う友だちと楽しく遊ぶ ⑤クレパスやサインペンなどを使って遊びを楽しむ ⑥ハサミ、のりなどの用具に関心をもち、くっつけたり切ったりして遊ぶ	①簡単なきまりやルールを守って友だちと一緒に遊ぶ ③大人の仲立ちでトラブルについて話し合って解決する ④遊びに必要な物を描いたり作ったりして、それを使って遊ぶ ⑤クレパスやサインペンなどをしっかり持つことができる ⑥ハサミを使ったり、かた結びをしったりすることができるようになる	①簡単な遊びのルールを友だちと考え、楽しく遊ぶ ②自然にふれて生活し、その美しさ不思議さなどに気づき、友だちと共感し合う ③遊びの中で起きたトラブルについて話し合って解決しようとする ④様々な運動遊びに、楽しみながら取り組む ⑤鉛筆を正しく持とうとする ⑥ハサミを使ったり、折り紙を折ったり、紐のかた結びができる	①友達と、ルールを守りながら楽しく遊ぶ ②身の回りの自然や物を使って遊びを工夫し、みんなで楽しむ ③遊びの中で起きたトラブルを自分たちで解決する ④様々な運動遊びやボールゲーム、水遊び、表現リズム遊びをする ⑤鉛筆を正しく持つ ⑥安全に気をつけて様々な道具を扱う経験をする
	聞く・話す	①聞く ②発表する ③伝える ④言葉遣い	①友だちや大人の話静かに聞こうとする ②みんなの前で言葉を出することができる ③生活や遊びに必要な言葉を使う ③友だちや大人との会話を楽しんだり、簡単な伝言ができる	①話す人の目を見て聞く ③自分のしたいこと、して欲しいことを最後まで話す ④時と場に応じた言葉遣いがあることがわかる	①相手の目を見て話す ②自分の思ったことや考えたことを相手にわかるように話す ③発見したこと、感じたこと、疑問に思ったことを話したり尋ねたりする ③人の話をよく聞き、それを身近な人に伝えることができる ④時と場に応じた言葉遣いをしようとする	①相手を見て、大事なことを落とさないように興味を持って話を聞く ②自分の思いや考えを、みんなの前で話型に気を付けて話す ③わからないことは、わからないと言う ③生活の中での伝えたいことを順序よく話す ④時と場に応じた言葉遣いをする(目上の人には、ていねいな言葉遣いをする)
	挨拶・返事	①挨拶 ②返事	①おはよう、さようなら、ありがとう、ごめんなさいなど日常の挨拶をする ②名前を呼ばれたら「はい」と返事をする	①親しみを持って日常の挨拶をする		①気持ちのよい挨拶をする ②「はい」と返事をする
	読書	①読書 ②調べる ③選択	①身近な大人の読み聞かせや絵本を楽しむ ・絵本の簡単な内容を理解し、興味をもって聞く ③絵本を借りて家の人に読んでもらう	・簡単な言葉遊びをしたり、劇やごっこ遊びをしたりする ②図鑑を喜んで見る	・物語などでイメージを広げ、言葉遊びをしたり、劇やごっこ遊びをしたりする ②図鑑を見たり調べたりする	①読み聞かせや、本を読むことを楽しむ ②調べる楽しさを感じる ③図書館(学校等)で好きな本を借りて読む
	仕事	①家 ②園・学校	①家の人と一緒に仕事をしようとする ②様々な遊びや生活体験を通して、結ぶ、包む、轉る、抱えるなど手を使った労働を体験する	①家の人と一緒に自分の決めた仕事に喜んでとりかかる ②促されて当番の仕事をしたり、共同で飼育栽培活動をする	①自分で決めた家での仕事は続けてしようとする ②当番活動・係活動に進んで取り組み、最後までやり遂げようとする ②友だちと一緒に掃除や落ち葉拾いなど、生活の場をきれいにする	①家で自分の仕事をもち、継続して取り組む ②給食当番、そうじ当番、係活動など、学級の中で役割を持ち最後まで責任を持って取り組む
	食事	①体づくり ②バランス ③スプーン・箸 ④マナー ⑤時間	①苦手な物でも少しずつ食べようとする ②朝食を摂る ③箸を正しく持ってこぼさずに食べようとする ④食器に手を添えたり、持ったりしてこぼさないように食べる ⑤一人で最後まで食べる	①食べ物の大切さを知り、好き嫌いをしないで食べようとする ②おしゃべりを控えて、40分位で食べる	①食べ物と体の関係について知り、残さず食べようとする ②バランスのよい朝食を摂る ④食器を持って姿勢よく食べる ⑤促されなくても、30分位で食べることができる	①体のことを考えて、好き嫌いをせずに食べる ②バランスのよい朝食を摂る ③箸を正しく持って食べる ④食器を持って姿勢よく食べる ⑤自分にあった量を、20〜25分程度で食べる
	睡眠	①生活リズム ②自分で	①早寝早起きの習慣を身に付けさせる ①自分から布団に入り、静かに午睡しようとする ②大人に見守られ、安心して一人寝ができる ②午睡の準備や片付けが少しの援助でできる(園)	①安心して午睡をすることができる ②促されて早寝早起きをしようとする	①午睡の意義がわかり、落ち着いて布団に入り、身体を休める ②なるべく自分で早寝早起きをしようとする	①寝る時間、起きる時間を守ってよいリズムで過ごす ②自分で寝る、自分で起きる(6:30)